

ハンドベル研究会 令和2年度・3年度の活動報告

令和2年度・令和3年度メンバー

〈2年〉 神島 遥 生野琉奈 岩本彩里 井上穂南

〈1年〉 渡邊真結香 橋萌々香

初等教育科 藤 田 光 子

【要旨】

ハンドベル研究会は発足から5年を迎え、現在5期生を迎えての活動を行っている。令和2年度3年度の4期生5期生の活動について報告する。楽器に触れることがはじめての学生ばかりでスタートし、令和2年度・令和3年度はコロナの影響もあり十分な活動ができなかった。1年生の入会がなくスタート時はどうなるかと思っていたが、2名の参加と2年生の新たな入会により演奏活動を行うことができるようになった。この2年間について報告する。

1. ハンドベル研究会の活動

「ハンドベル研究会」は毎週水曜日に1時間半程度の練習時間を取り活動している。令和2年は2年生6名、1年生3名。令和3年は2年生が4名、1年生が2名と少数での演奏となっている。令和2年はコロナの影響があり活動が停止。予定していた、園への訪問や、その他のイベントへの出演もすべて中止となった。また11月に予定していたwinterフェスティバルも延期の上中止という状態で、今までに経験したことのない研究会活動となった。

令和3年になり、学内の研究会紹介からスタートを切ったが、またすぐに活動の自粛、夏からの活動を望んだがそれも叶わなかった。9月に1回の練習、そのまま2年生は実習開始と練習もままならない状態が続いた。11月17日予定のwinterフェスティバルも延期し12月1日の実施が決まり約1か月間の準備期間でようやくステージに立つめどが立った。2年生にとっては2年間で初のステージのめどがたち学生のこれまでの成果を見せるチャンスが到来した。

年度	年月日	行 事	場 所
令和3年度	4月21日	研究会紹介	3号館ホール
	12月1日	Winterフェスティバル2021	別府ビーコンプラザコンベンションホール
	12月23日	宗方幼稚園「お楽しみ会」	宗方幼稚園ホール
	12月24日	劇団立見席 研究会公演	別府ビーコンプラザ中会議室

2. 公演の記録から

- ①令和3年12月1日(水) Winterフェスティバル2021ハンドベル演奏においては、初演となる。
- ②令和3年12月23日(木) 宗方幼稚園 お楽しみ会演奏と楽器体験においては幼稚園での初めての演奏となる。楽器体験では園児との触れ合い実現できた。
- ③令和3年12月24日(金) 劇団立見席 研究会公演においては他の研究会とともにイベントを作り上げる経験となった。

3. ハンドベル研究会の学生の声

(1) 初等教育科 2B 神島 遥

ハンドベル研究会での思い出は、2年次12月にあった3つの公演です。私が研究会に入って1年目は、コロナの影響で公演はおろか、活動すらままならない状態でした。2年にあがり、部員4名という少ない人数の中、助っ人として2人が参加してくれ、念願の公演を3度も行うことができました。演奏では、難しいことも多く公演までに間に合うかなと心配な面もありましたが、本番では練習で出来なかったところも揃い、達成感を味わうことが出来ました。幼稚園では、子ども達の笑顔も見ることができ、とても良い経験になったと思います

(2) 初等教育科 2B 生野 琉奈

私はハンドベル研究会で学んだことは沢山あります。その1つはみんなと演奏する楽しさ、経験です。私は小学校から高校までピアノをしていました。ピアノは基本一人で弾くし、伴奏とかをしていたわけではなかったので周りの人と演奏するという経験は少なかったです。ハンドベルを通して色々な人と演奏をしてみて、誰かと一緒に弾くことの楽しさ、難しさを知りました。周りの音や動きをしっかりと聞いて感じ取り、自分のベルを鳴らすのはとても難しかった

たです。最初は周りの音を気にする余裕もなく合わせてもらうばかりでした。でも練習をしていく中で周りの音が聞こえてきて、みんなと演奏しているんだと実感するタイミングが増えました。私はこのみんなと演奏していると実感できるタイミングが好きです。これは誰かと一緒に演奏するからこそその感覚だと思います。貴重な経験ができたと思うし、これから子供たちにも教えることができることだと思います。

他にもたくさんのことを学んだし色々な経験が出来ました。1年生の時はあまり活動ができなかったのは残念ですがそれでも2年生でたくさんの経験が出来ました。これから仕事の間でこの経験を存分に活かしたいです。

(3) 初等教育科 2B 岩本 彩里

ハンドベル研究会で学んだこと

私は、ハンドベル研究会に正式に参加はしておらず助っ人という形で研究会に参加しました。参加してすぐの頃はハンドベルの持ち方や音を出し方が分からず、その練習ばかりしていました。しかし、別府大学短期大学部のウィンターフェスティバルに向けて練習をしていくうちにだんだん慣れていき、曲ごとに担当するベルを複数本持つことができるようになりました。また、幼稚園に訪問し演奏する際も曲数が増えましたが、短い時間の中でも練習を繰り返し、他のメンバーと協力して成功することができました。このことから私は、「難しいと思ったことも練習すればできるようになる」ことを学びました。

(4) 初等教育科 1A 渡邊真結香

私は、ハンドベル研究会に入って良かったなと思います。ハンドベル研究会は人数が少なく1人が持つベルの数が多いです。初めは、とても大変そうだと思っていました。しかし、練習してみるとその思いよりも楽しいという思いが強

くなりました。ハンドベルの演奏では、一人一人の出す音が重なり、ひとつの音楽が完成します。誰か一人が欠けると曲は完成しません。全員で演奏することが私はとても楽しかったです。今年度はイベントに参加できる機会が少なかつたけれど、練習でさえ楽しいと思える研究会でした。

(5) 初等教育科 1A 橘 萌々香

ハンドベル研究会での思い出 学んだこと

私はハンドベル研究会に入ってまだ数ヶ月しか経っていませんが、思い出、学んだことがたくさんあります。

まず、大勢の人の前で演奏することの楽しさです。少し緊張はしますが、みんなが私たちの方を向いて耳を傾けている姿を見ると、一生懸命練習した甲斐があったな、と喜びを感じることが出来ました。また、幼稚園で演奏した時には子どもたちにハンドベルを体験させてあげたり、子どもとふれあえる機会があってすごく楽しかったです。

私にとって研究会活動は、大学生活を華やかにしてくれます。これからも色々な場所で演奏をして、色々な人にハンドベルの美しく綺麗な音を聞いてもらいたいです。

4. まとめ

この2年間はコロナ禍にもかかわらず、練習すら集まってできない、何とか実践的活動ができないかと心を痛める日々であった。しかしいつも仲間がいて、少ない練習時間でも発表の場を持つことができた。助っ人メンバーの登場でぐんと勢いが増し、重たい楽器を5人で懸命に運んで設営したり、イベントやステージで多く学生や園児の前に立ったりと研究会メンバーの姿はたくましく、これまで経験できなかったことが嘘のように生き生きと演奏する姿に変化していった。短大生活にとってハンドベル研究会

の活動が宝物になった瞬間である。



【初舞台 winterフェスティバル2021】



【幼稚園でのお楽しみ会演奏】



【イベントでの演奏】